



フォトニュース



野菜や果物などの地元農産物を求めてにぎわう 茅野市農業祭・JA信州諏訪農業祭

9月21日、茅野市運動公園で「第34回茅野市農業祭・第20回JA信州諏訪農業祭」が開催されました。

販売開始前から多くの人々が来場し、ブロッコリーやセロリ、リンゴなどの地元農産物やイワシ、シャインマスカットなどの姉妹都市農産物を買求めています。

この他、アルパカふれあい体験やクレヨンしんちゃんショー、箸づくりを行う木工教室、福引抽選会など、さまざまな催しが開催され、訪れた人々を楽しませていました。



災害に即応できる体制づくりを目指して 茅野市総合防災訓練

9月8日、災害に即応できる体制づくりを目指して「茅野市総合防災訓練」が開催されました。

茅野市運動公園の会場では、会場周辺の地区住民や消防団、諏訪東京理科大学の学生など約230人が参加し、災害用トイレ訓練や倒壊家屋からの救出訓練、炊き出し訓練、消火・応急手当講習などに取り組みました。

この他、市内各所では、各区の防災訓練や基本避難所（市内小中学校）開設訓練、福祉避難所開設訓練などが行われました。



蓼科野菜を使った料理を味わう 仲秋の彩野菜ランチ会

9月23日、レストラン「ウッドベッカー」で、「仲秋の彩野菜ランチ会」が開催されました。市内外から30人が参加し、茅野市産の西洋野菜や規格外野菜などを使用した料理を味わいました。

ズッキーニやパプリカなど季節の蓼科野菜を使ったテリーヌ、信州の伝統野菜「糸萱かぼちゃ」のスープなど、全8種類のメニューが提供され、参加者に地元食材の魅力を発信しました。料理は、料理人で茅野市地域おこし協力隊の古田さんが調理しました。



健康や食生活への関心を高める ちのし健康&食育フェスタ

9月14日、茅野市健康管理センターで「来て！見て！体験して！健康になろう♪」をテーマに『ちのし健康&食育フェスタ』が開催されました。

市民に健康や食生活への関心を高めてもらうことを目的に昨年から実施されており、今回が2回目となります。

当日は、市栄養士会や看護協会諏訪支部など、健康に関連した12の団体が、運動能力測定や保育園給食のレシピ紹介、塩分測定体験、血管年齢測定などのブースを設け、訪れた人がさまざまな体験をしました。